

平成28年度

全国学力・学習状況調査について

身延町教育委員会

文部科学省では、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、調査の結果からみえてくる教育施策の成果と課題を検証しその改善を図り、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てるため、毎年4月に小学6年生、中学3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」を実施しております。

今年は4月19日に実施し、身延町では小学6年生64人、中学3年生70人が参加しました。この調査から見えてくる身延町の子どもたちの現状と課題を踏まえて、児童生徒の学力向上を図っていきます。

なお、この調査結果については、国語、算数・数学と特定の教科のみ実施されたもので、全ての学力を測るものではないことをご理解ください。

児童生徒に対する調査

◎教科に関する調査

小学校… 国語 A、国語 B、算数 A、算数 B

中学校… 国語 A、国語 B、数学 A、数学 B

※ A 問題は主として「知識」に関する問題（身につけておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容など）、B 問題は主として「活用」に関する問題（知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などに関わること）が出題されております。

小学生（64人）		全国平均と比べて	県平均と比べて
国語	A 問題	ほぼ同じ	ほぼ同じ
	B 問題	上回る	ほぼ同じ
算数	A 問題	ほぼ同じ	ほぼ同じ
	B 問題	ほぼ同じ	ほぼ同じ

中学生（70人）		全国平均と比べて	県平均と比べて
国語	A 問題	ほぼ同じ	ほぼ同じ
	B 問題	上回る	上回る
数学	A 問題	ほぼ同じ	ほぼ同じ
	B 問題	ほぼ同じ	ほぼ同じ

※ほぼ同じ…±5ポイント未満の違い

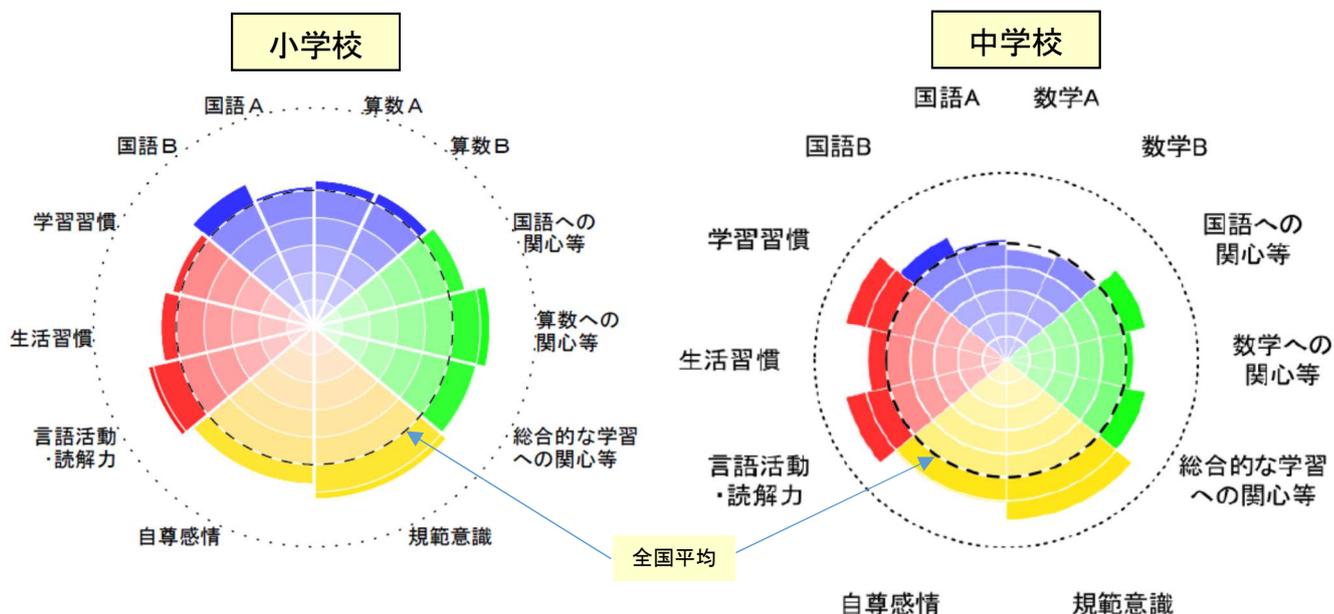
※上（下）回る…5ポイント以上の違い

身延町の調査の結果は、概ね全国平均正答率と「ほぼ同じ」で、小学校国語B、中学校国語Bでは5ポイント以上を超えています。

◎質問紙調査

「朝食を毎日食べていますか?」「学校以外で1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか?」「今住んでいる地域の行事に参加していますか?」「新聞を読んでいますか?」など85項目の設問に児童生徒が回答し、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して児童生徒の様子や意識を測るものです。

回答を総合的にまとめたものが下記の表のとおりです。全ての項目において肯定的な回答が多く、特に校則やルールを守るなどの「規範意識」、考えや意見を発表したり聞きあったりするといった「言語活動・読解力」、中学校における「学習習慣」の定着は全国平均を大きく上回っています。



学校に対する調査

◎質問紙調査

学校における指導方法に関する取り組みや、学校における教育条件の整備の状況等に関して、114～116項目の設問に学校が回答するものです。

前年度調査の自校分析と検証を行い、学校全体で教育活動の改善や指導計画へ反映している等、この調査をいかした学習面への取り組みが全国平均を大きく上回っているほか、「私語をしない」、「授業開始のチャイムを守る」など学習規律の維持・徹底など生活面の指導についても力を入れています。

また、授業の中で児童生徒の発言やグループでの学び合いを積極的に行い、児童生徒の考えや思考を大事にした授業展開を取り入れております。

総括

児童生徒の質問紙のうち、設問の回答として特徴的だったのは、地域行事や地域ボランティア等への参加など地域学習、道徳教育の徹底が図られていることです。また、新聞、テレビ、インターネットからのニュース等の情報収集をしているかの設問についても全国平均を大きく上回っております。

全国平均を下回ったところでは、コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業の展開です。町では、今年度に中学校に1人1台のタブレット、各教室への電子黒板、インターネット環境の整備を行いました。今後は小学校にも整備を進め、情報教育の推進を図っていきます。

学校活動だけでなく、より一層の家庭学習の定着、向学館事業等における学習サポート、町における教育環境の整備等、引き続き学校、家庭、地域、町が連携して、確かな学力と豊かな人間性を育んでいきます。